

非正社員のスキルアップに

社内スクールを開校

工場専門のアウトソーシングや人材派遣、トランクルームなど幅広く事業展開する川相商事(川相政幸社長、大阪府門真市)。同社は、独自の社内スクール「創喜感動塾」を4月26日から開校しており、非正社員を対象に半年間のカリキュラムを組み、技能習得をしながら仕事のスキルや管理者としての能力が学べる環境を提供している。

業に向けて半年間の教育課程の中で、社会のモラルや技能習得の勉学に励んでいる。教材はすべて自社が負担し、卒業すれば自社で正社員として迎え入れることや他社への紹介などもあるという。

ヒューマンスキルなどの研修を実施して、コミュニケーション力やマネジメント力などを磨きながら、卒業後は、テクニカルスキルや、パソコンや管理職での必要性など、カリキュラムを説明する相川氏



川課長は「心身共に大きなカリキュラムだからこそ、色々なことを理解すれば自分も成長できる」と話す。川課長は「心身共に大きなカリキュラムだからこそ、色々なことを理解すれば自分も成長できる」と話す。

研修が行われておらず、この塾で体験してもらっている」と説明する。

同社は、企業で働く非正社員を正社員にしてもよいと考えている企業があれば、参加を呼び掛けている。同課長は「雇い入れの改革をしたい。非正社員にチャンスを与えてほしい」と訴え、「会社のメリットとして、助成金の申請は当社がするので負担にならない。現場の仕事にすぐに応できる人材育成が確実にできる」と話す。

「創喜感動塾」

相川定任課長は「社開校した」と話す。現長の『人を育てたい』在は、自社の派遣スタッフ3人が9月の卒

業課程の中で、社会のモラルや技能習得の勉学に励んでいる。教材はすべて自社が負担し、卒業すれば自社で正社員として迎え入れることや他社への紹介などもあるという。

ヒューマンスキルなどの研修を実施して、コミュニケーション力やマネジメント力などを磨きながら、卒業後は、テクニカルスキルや、パソコンや管理職での必要性など、カリキュラムを説明する相川氏

川課長は「心身共に大きなカリキュラムだからこそ、色々なことを理解すれば自分も成長できる」と話す。

講師には大阪府雇用センターの協力もあり、著名な講師を招いたり、自社の社員が講師を務めることで社員のレベルアップも図れると話す。「3人とも想像以上の成長をしている。9月末の卒業前には、卒論の代わりに『将来の自分について』のプレゼンがあるので楽しみ」と同課長。同塾は助成金の対象になってしまっており、予算を出している雇用機関からも評価をもらっている

同社では研修ができる職場を探している。問い合わせは、電話072(8883)1241番(担当・相川課長)まで。URLは、www.sakigake.com